

第 5 回 こども園部会 会議報告

日 時:令和7年 11 月 27 日(木)

午後7時～7時 50 分

場 所:岡谷市役所 605会議室

○次 第

1. 幼児期の教育・保育に関する新たな指針の策定について
2. 義務教育学校・認定こども園の名称について
3. 各担当の進捗報告について

○部会で確認した内容

- ①現行の保育目標は1枚ものであるが、この保育目標に見直しを加え、幼児教育・保育目標として掲げることから、国の指針や要領などを踏まえ、「岡谷市教育大綱」との整合を図る中で新たに「岡谷市幼児教育・保育大綱」として制定予定。
- ②「川岸学園」という名称を義務教育学校と認定こども園の両施設共通の総称名として使用していくことを、総称名の案として考えている。

③各担当の進捗報告

【整備室】

- ・川岸学園整備事業の総事業費の見直しについて、当初の概算事業費より約 5 億円増額の見通し。
- ・第 2 期工事の入札で、関連する 6 件の工事のうち 5 件が市が設定した予定価格を上回ったため、入札が不調になった。

【保育園】

(2園交流)10月28日に鶴峯公園で学年交流を実施。年長はネイチャーゲーム、年中は、はないちもんめ、年少は鬼ごっこ。年長は交流を重ねて仲良くなったことで、話し合いをしながら自然な交流が出来るようになってきた。

11月7日は、川岸5地区の区長、お世話になっている地域の方等を招いて、5月に2園で仕込んだ味噌を使った豚汁会を実施。子どもたちから地域の方に対して、季節に合わせた「きのこ」の歌のプレゼントをした後、一緒に美味しい豚汁を味わった。

(園校交流)11月18日に3年生が計画を進め、令和10年4月に1年生になる年少児と一緒におうちごっこ、輪投げ、ボウリングなどを実施。3年生が小さな子ども達を目線までしゃがみこみ、優しく声を掛けてくれ、年少児も困ることなく、とても良い交流会が出来た。

【保護者会】

- ・現在、来年度の保護者会長を含めた役員の選出をしている最中である。決まり次第報告をする。

○部会で出された主な意見等

(幼児期の教育・保育に関する新たな指針の策定について)

- ・自身の意見を取り入れてくれたうえで、分かりやすく表現されており、とても良い大綱になっている。
- ・大綱内に「幼児期において育みたい資質・能力」や「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」が加わったことにより、改めて遊びを大切にしながら日々の保育を実施していきたいと感じた。
- ・前回の目標と比べると子育てに大切にしていきたい言葉などがシンプルに伝わる良い大綱になったと感じた。
- ・個人的には理念の中にある、「生きる力の基礎を培います。」が幼児期に育みたい大切なキーワードであり好きな言葉である。
- ・「遊び」から「学び」に変わったが、遊びの要素が非常に大事だということが伝わる。めざすこども像が立派すぎて自分の子どもがこんな風に成長させられるかちょっと不安である。
- ・新しく東堀こども園をつくった際も目標を定めて園生活をスタートさせた。最初は、教育の要素を入れなければいけないなど、手探りの状態が続いたが、子ども達と一緒にありのままで遊びを通じて保育をしている中で、遊びから学びにつながることを保育士達も理解をしてきたと感じた。
- ・全体をとおして非常に分かりやすい表現になったので、今後は、理念やめざすこども像の意味や内容を紐解き、全職員と共有していきながら保育を実施していきたい。
- ・理念やめざすこども像をタイトルにすることで、現行の保育目標では示していなかった内容が明確化され、非常に分かりやすい大綱になったと感じた。
- ・「遊び」から「学び」に変わったことによる懸念点としては、この目標を先生達に伝わった時に、幼児期に大切な遊びよりも学びを優先してしまうこと。そうではなく、遊びは学びの重要な要素であることを認識してもらうことも大綱の中身と同じくらい大切なことである。

○次回の部会での検討事項

- ・義務教育学校・認定こども園の名称等について

○次回の日程について

- ・令和7年度末